

明石工業高等専門学校		開講年度	平成31年度 (2019年度)	授業科目	建設材料Ⅱ	
科目基礎情報						
科目番号	0035		科目区分	専門 / 必修		
授業形態	講義		単位の種別と単位数	履修単位: 1		
開設学科	都市システム工学科		対象学年	2		
開設期	後期		週時間数	2		
教科書/教材	教科書:図説 わかる材料-土木・環境・社会基盤施設をつくる :図書館などにある建設材料に関する書籍			監修 宮川豊草、編者 岡本享久、学芸出版社参考書		
担当教員	武田 字浦					
到達目標						
社会基盤施設を建設するための建設材料の特性について理解し、建設の際に適切な材料を選定し適用できる						
ルーブリック						
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1	社会基盤施設を建設するための建設材料の特性について理解し、建設の際に適切な材料を選定しさまざまな条件を考慮しながら適用できる		社会基盤施設を建設するための建設材料の特性について理解し、建設の際に適切な材料を選定できる		社会基盤施設を建設するための建設材料の特性について理解し、適切な材料を建設の際に選定し適用できない	
学科の到達目標項目との関係						
教育方法等						
概要	本科目では、社会基盤施設を建設するための建設材料の特性を理解し、これらの材料を適切に選定し適用するための知識を得ることを目的とする。					
授業の進め方・方法	定期試験(60%)、演習・レポート(30%)、授業への取り組み姿勢(10%)を総合的に判断して評価する。総合評価が60%以上あれば、建設材料に関する基礎的知識があると判断し、本科目の合格とする。レポートは、各建設材料の特性に対する理解度を確保する内容および履修上の注意を満たせる内容とする。					
注意点	さまざまな建設材料が出てくるので、必ず予習・復習をして整理・理解に努めること。また、身近な環境で、どのように建設材料が利用されているか発見に努めること。 合格の対象としない欠席条件(割合) 1/3以上の欠課					
授業計画						
		週	授業内容	週ごとの到達目標		
後期	3rdQ	1週	セメントの種類と製造方法	セメントの種類と製造方法について説明できる		
		2週	セメントの化学的性質	セメントの化学的性質について説明できる		
		3週	骨材の役割と種類	骨材の役割と種類について説明できる		
		4週	骨材の性質	骨材の性質について説明できる		
		5週	混和材料の役割と種類	混和材料の役割と種類について説明できる		
		6週	混和材料の機能	混和材料の機能について説明できる		
		7週	建設材料Ⅱ 演習-1	学習した建設材料についての特性を理解できる		
		8週	中間試験			
	4thQ	9週	各種コンクリート	各種コンクリートについて説明できる		
		10週	硬化コンクリートの劣化-1	コンクリートの劣化について説明できる		
		11週	硬化コンクリートの劣化-2	コンクリートの劣化について説明できる		
		12週	高分子材料の種類	高分子材料の種類について説明できる		
		13週	高分子材料を用いた複合材料と補修・補強材料としての利用	高分子材料を用いた複合材料と補修・補強材料としての利用について説明できる		
		14週	地球環境問題と建設材料	地球環境問題と建設材料について説明できる		
		15週	建設材料Ⅱ 演習-2	学習した建設材料についての特性を理解できる		
		16週	期末試験			
モデルコアカリキュラムの学習内容及到達目標						
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週	
専門的能力	分野別の専門工学	建設系分野	材料	材料に要求される力学的性質及び物理的性質に関する用語、定義を説明できる。	3	
				鋼材の種類、形状を説明できる。	3	
				鋼材の力学的性質(応力-ひずみ関係、降伏強度、引張強度、弾性係数等)を説明できる。	3	
				セメントの物理的性質、化学的性質を説明できる。	3	
				各種セメントの特徴、用途を説明できる。	3	
				骨材の含水状態、密度、粒度、実積率を説明できる。	3	
				骨材の種類、特徴について、説明できる。	3	
				混和剤と混和材の種類、特徴について、説明できる。	3	
				コンクリートの長所、短所について、説明できる。	3	
				各種コンクリートの特徴、用途について、説明できる。	3	
				配合設計の手順を理解し、計算できる。	3	
				フレッシュコンクリートに求められる性質(ワーカビリティ、スランプ、空気量等)を説明できる。	3	
				耐久性に関する各種劣化要因(例、凍害、アルカリシリカ反応、中性化)を説明できる。	4	
				コンクリート構造物の維持管理の基礎を説明できる。	4	

			コンクリート構造物の補修方法の基礎を説明できる。	4	
			コンクリート構造の種類、特徴について、説明できる。	3	
		施工・法規	コンクリート工の目的と施工法について、説明できる。	3	
			型枠工・鉄筋工・足場支保工・打設工の流れについて、説明できる。	3	

評価割合

	試験	演習・レポート	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	60	30	0	10	0	0	100
基礎的能力	30	10	0	10	0	0	50
専門的能力	30	20	0	0	0	0	50
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0